

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2017年5月11日、シンバイオ製薬株式会社は2017年12月期第1四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	16年12月期				17年12月期				17年12月期 (進捗率) 通期会予	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
売上高	193	1,211	1,408	2,368	870				81.6%	2,903
前年比	-52.7%	24.0%	5.6%	22.5%	350.2%					22.6%
売上総利益	57	405	478	904	239					
前年比	-53.1%	43.2%	21.1%	55.1%	323.0%					
売上総利益率	29.2%	33.4%	34.0%	38.2%	27.5%					
販管費	575	1,225	2,011	3,031	764					
前年比	27.0%	31.6%	45.4%	-3.3%	32.9%					
売上高販管費比率	297.6%	101.2%	142.8%	128.0%	87.9%					
営業利益	-518	-820	-1,532	-2,127	-525				-	-3,238
前年比	-	-	-	-	-					-
営業利益率	-	-	-	-	-					-
経常利益	-655	-1,177	-1,917	-2,317	-583				-	-3,303
前年比	-	-	-	-	-					-
経常利益率	-	-	-	-	-					-
四半期純利益	-653	-1,175	-1,916	-2,313	-583				-	-3,306
前年比	-	-	-	-	-					-
四半期純利益率	-	-	-	-	-					-

四半期業績推移 (百万円)	16年12月期				17年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	193	1,018	197	960	870			
前年比	-52.7%	79.2%	-44.7%	59.9%	350.2%			
売上総利益	57	348	74	426	239			
前年比	-53.1%	114.8%	-34.6%	126.6%	323.0%			
売上総利益率	29.2%	34.2%	37.4%	44.3%	27.5%			
販管費	575	650	786	1,021	764			
前年比	27.0%	36.0%	73.8%	-41.7%	32.9%			
売上高販管費比率	297.6%	63.9%	399.2%	106.2%	87.9%			
営業利益	-518	-302	-712	-595	-525			
前年比	-	-	-	-	-			
営業利益率	-	-	-	-	-			
経常利益	-655	-522	-740	-400	-583			
前年比	-	-	-	-	-			
経常利益率	-	-	-	-	-			
四半期純利益	-653	-523	-741	-397	-583			
前年比	-	-	-	-	-			
四半期純利益率	-	-	-	-	-			

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2017年12月期第1四半期の売上高は、トリアキシ[®]の製品販売等により、870百万円（前年同期比350.2%増）となった。

販売費及び一般管理費は、764百万円（前年同期比32.9%増）となった。研究開発費は395百万円（同76.8%増）となった。リゴセルチブナトリウム注射剤及び経口剤、SyB P-1501の臨床試験費用が発生した。また、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は369百万円（同5.0%増）となった。

これらの結果、営業損失は525百万円（前年同期は営業損失518百万円）となった。経常損失は、為替差損55百万円を主とする営業外費用59百万円を計上したこと等により583百万円（前年同期は経常損失655百万円）、当期純損失は583百万円（前年同期は当期純損失653百万円）となった。

2017年12月期第1四半期における事業の進捗状況は以下の通りとなった。

国内

抗がん剤SyB L-0501 (一般名:ベンダムスチン塩酸塩、商品名:トレアキシン®)

抗がん剤トレアキシン®については、再発・難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫及びマントル細胞リンパ腫、未治療(初回治療)の低悪性度非ホジキンリンパ腫及びマントル細胞リンパ腫、及び慢性リンパ性白血病を適応症として、業務提携先のエーザイ株式会社(以下、エーザイ社)を通じ、国内販売を行っている。薬価ベースの売上は前年同期比28.0%と伸長し、それに伴い同社からエーザイへの製品売上についても前年同期比312.4%増となった。

同剤については、既に承認を取得した上記の3つの適応症に加え、引き続き新しい治療方法を必要としている患者のために、製品価値の最大化を図るべく4つ目の適応症の取得に取り組んでいる。既に第II相臨床試験を終了している再発・難治性の中高悪性度非ホジキンリンパ腫(びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)については、医療ニーズが高いことを受けて、現在、医薬品医療機器総合機構との協議を進めており、引き続き適応症追加に向けた検討を進めている。また、現在開発・販売中の注射剤に加えて経口剤の開発を推進することにより、固形がんや自己免疫疾患に取り組み、さらなる事業拡大の可能性を検討している。

抗がん剤SyB L-1101 (注射剤) / SyB C-1101 (経口剤) (一般名: Rigosertib Sodium (リゴセルチブナトリウム))

2011年7月に導入した同剤に関し、2016年10月に医薬品一般的名称の決定通知があり、日本語名を「リゴサチブ」より「リゴセルチブナトリウム」、また英語名を「Rigosertib」より「Rigosertib Sodium」に改めた。

リゴセルチブナトリウム(注射剤)については、導入元であるオンコノバ・セラピューティクス社(以下、オンコノバ社)が実施している国際共同第III相試験の日本における臨床試験を2015年12月に同社が開始した。当該国際共同第III相試験は、標準治療である低メチル化剤による治療において効果が得られない(HMA不応の)または治療後に再発した高リスク骨髄異形成症候群(MDS)患者を対象とし、全世界から10ヵ国以上が参加して実施している。同社は症例登録に向けての手続きを進め、2016年7月に最初の患者登録が完了し、症例集積が進行中である。

リゴセルチブナトリウム(経口剤)については、高リスクMDSを目標効能とした国内第I相臨床試験(アザシチジンとの併用試験)を、2015年12月に開始したが、当該併用試験の治験薬供給に遅延が生じており、2017年5月11日時点では症例登録が開始されていない。同社は、この問題が解消され次第、症例登録を開始し、計画通り当該併用試験を終了させ、オンコノバ社が実施を計画している国際共同試験への参加を検討するとしている。

自己疼痛管理用医薬品 SyB P-1501

2015年10月に、ザ・メディシンズ・カンパニー社(契約の相手先は同社完全子会社であるインクライン・セラピューティクス社)から導入したSyB P-1501については、入院期間中の短期術後急性疼痛管理を適応とした国内第III相臨床試験を2016年6月に開始し、2016年11月に最初の患者登録を完了し、その後症例集積が進行していた。しかし、ザ・メディシンズ・カンパニー社の同製品の事業の継続性について同社が懸念を抱く事実が生じたため、患者の利益を最優先する観点から、2017年4月21日より新規症例登録を一時的に中断している。

新規開発候補品

中長期的な視点に立ち、収益性と成長性を兼ね備えた製薬企業へ転換するために、新規開発候補品のグローバル権利取得に向け、有望な新薬開発候補品の探索・評価を継続して行っている。また、2016年5月に、海外事業展開の戦略的拠点として100%出資の米国子会社SymBio Pharma USA, Incを設立した。同社は、当該子会社を活用し、新薬候補品の全世界における権利を積極的に取得し、米国、日本、欧州をはじめとする主要市場において開発・商業化を行うことで、グローバル・スペシャリティファーマへの転換を進めるとしている。

海外

SyB L-0501については、韓国、台湾、シンガポールにおいても販売されており、同社の売上は堅調に推移している。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <http://www.sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp